

中学校部会の研究

1 研究主題

「生涯にわたり、仲間とともに主体的に運動やスポーツに親しむ資質や能力を育む体育・保健体育学習」
～ 「主体的・対話的な深い学びの視点に立った楽しさを実感させる授業の展開を目指して」 ～

2 主題設定の理由

近年、我が国では技術革新が進み、人々の働き方が変わり始めてきている。社会が情報化され、知識は誰でも得られるようになってきた。知識よりも思考力や判断力、行動力が重視され、どれだけ知識を持っているかではなく、知識を活用し背景の異なる他者と共働して課題を発見し解決する能力の重要性が高まっている。そのような中、保健体育科における生徒の学習課題としては、運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向が見られること、そして、習得した知識や技能を活用して課題を解決することや、学習したことを相手にわかりやすく伝えることが不得意な子がいること等が挙げられている。

このような現状を踏まえ、知識や技術を一方的に伝達するだけでなく、生徒たちが授業で学んだことを社会の中で活用できるような「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を重視した授業を展開していく必要があると考える。

本地区では、昨年度「対話的な学び」に視点を置き、「体づくり運動」と「球技:バレーボール」における指導方法の工夫や教材教具の工夫、学習カードの作成を行った。体づくり運動の研究では、生徒同士で質問したり、教え合ったり、相談したりしながら、力を合わせて協力できる活動の工夫を行った。生徒の実態に応じた運動の種類を選択できるように、種目を増やしたことで、生徒が意欲的に活動する姿が見られた。また、アドバイスタイムでは、活動を振り返りながら意見交換を行う姿が見受けられた。

バレーボールの研究では、運動が得意な生徒も、運動が得意でない生徒も楽しめるルールを考え、それをレベル表としてまとめ、実践・検証を行った。ルールを様々な角度から検討することで、授業において、運動が得意な生徒も、運動が苦手な生徒も積極的に活動する姿が多く見受けられた。しかし、習得した知識や技能を活用して課題を解決することや、学習したことを相手にわかりやすく伝えることに課題が残った。

そこで、本年度も引き続き「体づくり運動」と「球技:バレーボール」研究を行い、知識を活用し背景の異なる他者と共働して課題を発見し、仲間とともに解決するための糸口となる授業を目指すこととした。主体的で対話的な深い学びの学習を展開していく上で、「楽しさを実感させる」ことが重要であると考え。この、「楽しさを実感させる授業」を具現化するために、この主題及び副題を設定し、研究を進めることとした。

3 研究の仮説

保健体育学習において、主体的・対話的で深い学びの視点に立った楽しさを実感させる授業を行うことによって、仲間と共に楽しみながら、基礎的な知識及び技能の習得ができ、それらを活用して課題を解決するための必要な能力を身に付け、生涯にわたり主体的に運動やスポーツに親しむ資質や能力を育むことができるであろう。

4 研究の内容

- (1) 学習内容の整理
 - ① 単元計画構造図の作成・活用
 - ② スキルアップテキストの整理と活用
- (2) 楽しさを実感する授業の在り方
 - ① 技能の伸びを実感するための手立ての工夫
 - ② 学習カードの工夫

5 研究方法

- (1) 各班での班別研究
- (2) 学校体育研究発表大会 場所：新富町体育館 10月26日（金）
授業 単元：球技「バレーボール」 上新田中学校 澤村 忠俊 教諭

(2) 楽しさを実感する授業の在り方

① 技能の伸びを実感するための手立ての工夫

技能の伸びを実感するための手立ての工夫として、スキルチェックと題し、個人技能のテストを行った。具体的な測定項目は、アンダーハンドサークルパス、オーバーハンドサークルパス、オーバーハンド距離の3つである。

サークルパスについては、半径1mのサークル内で直上オーバーパス、直上アンダーパスの連続回数の測定を行い、オーバー距離については、自分で投げ上げたボールをオーバーハンドで飛ばし、その距離を測定するというものである。

② 学習カードの工夫

今回学習カードを作成する上で、次の3点について工夫を行った。1点目は、生徒が本時で学習する内容と目的が分かるようにした。2点目は、何のための練習なのかを理解して取り組めるようにした。3点目は、学習カードに取り組み内容を掲載するだけでなく、スキルアップテキストと学習カードに掲載する練習メニューをリンクさせた。

バレーボール学習カード 10月()日

第1時間目 今日目標： 学習の進め方を知り、学習の見通しを把握しよう。

○ 授業の進め方

1 準備運動
・ ランニング ・ 準備体操 ・ ストレッチ

2 スキルチェック

- ・ オーバーハンドサークルパス
直径2mのサークル内でボールを1m以上上げて連続してオーバーハンドパス
30回まで、円から足が出たり、1m以上ボールが上がらなかつたら終了
試技は2回、その平均を記録する
- ・ アンダーハンドサークルパス
直径2mのサークル内でボールを1m以上上げて連続してアンダーハンドパス
30回まで、円から足が出たり、1m以上ボールが上がらなかつたら終了
試技は2回、その平均を記録する
- ・ オーバーハンド距離
両手で2mほど投げ上げて落ちてきたボールを、オーバーハンドパスで前方へ飛ばす
試技は2回、飛んだ距離の平均を記録する

オーバーハンドサークルパス		アンダーハンドサークルパス		オーバーハンド距離	
1回目	目標設定	1回目	目標設定	1回目	目標設定
回		回		m	
2回目		2回目		2回目	m

○ ゲームをやってみよう (チームは指示をします)
ルールは通常のルール

今日の対戦相手	班	対戦結果 () 対 ()	勝ち ・ 負け
今日の方でバレーボールを楽しむことは?	できる	できない	

今日のゲームで困ったことはどんなことですか?

バレーボールを楽しむために、何が(どんなことか)必要だと思いますか?

○ 今日の授業で知ったこと・学んだこと

○ 今日の授業を通して

- ・ 楽しくできましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)
- ・ 自分から進んで活動できましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)
- ・ 友達と協力して学習できましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)
- ・ お互いに教えたり、励ましたりできましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)

バレーボール学習カード 10月()日

第9時間目 今日目標：

○ スキルチェック

オーバーハンドサークルパス	アンダーハンドサークルパス	オーバーハンド距離
1回目 回	1回目 回	1回目 m
2回目 回	2回目 回	2回目 m

○ 空いた空欄への返球
※ 前時の練習で効果的だと感じたことはどんなことですか?

○ チームの課題はどんなところ?

○ 課題解決のための練習メニュー
【スキルアップテキストのNo】

○ ゲーム
ルールは【 】

今日の対戦相手	班	対戦結果 () 対 ()	勝ち ・ 負け
---------	---	----------------	---------

今日のゲームを通して、良かった点や反省点などを記入しよう

○ 今日の授業で友達からのアドバイスなどでよく分かった点や理解できたことは?

○ 今日の授業を通して

- ・ 楽しくできましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)
- ・ 自分から進んで活動できましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)
- ・ 友達と協力して学習できましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)
- ・ お互いに教えたり、励ましたりできましたか (はい ・ どちらでもない ・ いいえ)

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- 指導内容の明確化や指導と評価が一目で分かるメリットと同時に、生徒にとっても指導される内容がはっきりと分かり、授業の見通しが立つことによって、より主体的な学習につながるものとなった。
- スキルアップテキストと学習カードに掲載する練習メニューがリンクするよう工夫した。そうすることで、生徒が本時で学習する内容と目的が分かり、何のための練習なのか理解して取り組むことができるとともに、課題解決のための練習を行う際にも活用しやすいものを作成することができた。
- スキルチェックでは、初回の測定後に個人目標を立てさせて取り組ませることで、ただ続けるだけではなく、目的意識を持って取り組むとともに技能の伸びを実感する手立てとなった。

(2) 課題

- 今後もスキルアップテキストやスキルチェック、学習カードの検証を行い、課題を洗い出し、改善していく必要がある。
- 本地区の生徒の課題でもある「習得した知識や技能を活用して課題を解決すること」「学習したことを相手にわかりやすく伝えること」について、様々な角度から手立てを考えていく必要がある。